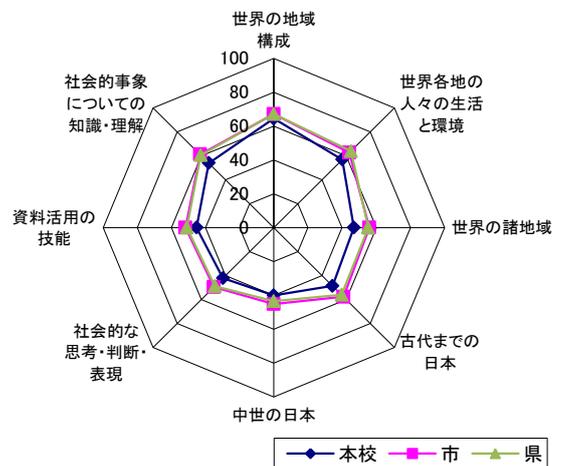


# 宇都宮市立鬼怒中学校第2学年【社会】分類・区別正答率

## ★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	世界の地域構成	64.4	67.1	67.1
	世界各地の凶々の生活と環境	56.8	62.6	63.9
	世界の諸地域	46.9	55.9	55.3
	古代までの日本	48.7	57.8	56.2
	中世の日本	40.0	45.1	43.5
観点	社会的な思考・判断・表現	42.2	49.7	48.9
	資料活用技能	45.3	51.8	51.0
	社会的な事象についての知識・理解	53.9	61.1	60.6



## ★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
世界の地域構成	○様々な世界地図を活用することができる生徒の割合が、市・県平均より高い。 ●世界の海洋分布を理解している生徒の割合が78%であり、市・県平均と比較すると大きく下回っている。	・地図帳を活用し、白地図に自分で書き込む活動を増やし、視覚的に理解できるようにさせる。
世界各地の人々の生活と環境	○世界の主な宗教の分布について理解している生徒が、多い。 ●雨音図の読み取りを記述する問題の正答率が低く、市・県平均を大きく下回っている。	・雨音図から読み取ったことを記述させ、気候の分布図とともにまとめさせる活動に力を入れる。またグラフを作成する活動を増やす。
世界の諸地域	●アジア州・南アメリカ州の正答率が、市・県平均を下回っている。 ●資料を読み取り記述する問題の正答率が低く、市・県平均を大きく下回っている。	・州ごとに重要語句を習得させるとともに、資料の読み取りから州ごとの特色を理解させ、文章で表記する活動を増やす。
古代までの日本	○世界の古代文明に共通する特色を理解している生徒が多い。 ●年代の表し方を理解している生徒の割合が低い。	・西暦と年号の表し方を、繰り返し確認させる。 ・重要語句を示し、小テストなどを行うことで繰り返し学習させる。 ・年表で歴史の流れをつかませるとともに、時代の移り変わる時に起きたできごとに注目させ理解を深める。
中世の日本	○鎌倉時代の仏教について理解している生徒の割合が、市・県平均より大きく上回っている。 ●理解している事実をもとに、自分で考え記述する問題や資料を読み取る問題の正答率が低く、市・県平均を大きく下回っている。	・資料から読み取ったことや、キーワードをもとに考えたことを記述する活動を取り入れる場面を増やす。